東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2005年9月16日

我欲よ

人が固執し、求める、４つのものがあります。富、名誉、快楽、そして来世です。我欲よ、あなたはこれらのうちのどれにこだわるのか、決めなければなりません。そして忘れてはいけないことは、来世の為に努力することは、この世界での恵みを妨げるものではないということです。土を耕し、種をまき、収穫物を得ようとする農夫の畑には、収穫物と共に様々の雑草が茂ります。しかしこれらの雑草は、収穫を得ようとする者がやる気をなくしたり、収穫を断念したりという状況を起こしはしません。

人々の多くがこの世に固執し、それを楽しみとするのをあなたは見ています、我欲よ。ただ、人が自らを救い、来世に備えることを妨げるものが、見ること、聞くこと、味わうこと、触ること、においを感じること、といったようなささやかな楽しみである、ということをも知ってください。そしてそのわずかな楽しみに、過度に貪欲にならないでください。

楽しくさえあればいい、とこの世にあまりにも固執する人たちと共にいることを恥ずかしく思わないのですか。よいものをもたらすものと、害をもたらすものを区別できないのですが、我欲よ。この世の何物も、あなたを完全に満足させることができないとまだ理解しないのですか。ここで誰かが何かを持っていたとしても、彼はその持ち主ではなく、そのものも彼の手に残されることはないということ、つけあがった、無知な人々がこの世界に固執していることに気がつかないのですか。

この世で財産を蓄え、地位を得ることを熱望する人々を見て、自分もその気になってはいけません。立派なものだと思い込んでいたものが些少なものに過ぎないことを、そのものから離れて気がつく人がとても多いのです。ちょうど髪の毛のように。髪の毛は、頭にある間は大事にされますが、それが切られた時には、人はそれをつまらないものだと見なし、払い落とすのです。

できる限り尽力すべきところで、後戻りしてはいけません、我欲よ。あなたの行為の報酬はアッラーから求めなさい。疑う余地なく、そのお方は倍にすらして、与えてくださるでしょう。知識の上ではあなたに劣り、地位や富ではあなたに勝り、かつ、他の人々の状況を変える手本にもならず、何かを始める為の第一歩を踏み出そうと努力しない人たちを妬んでいてはいけません。

我欲よ。人々が求めているものを与えること、災いにあった人々をそこから救うことに愛想を尽かしてはいけません。殴ること、打ち砕くこと、殺すこと、盗むことといったような悪い行いから遠ざかっていなさい。あなた自身を、うぬぼれから、憎悪から、嘘から、悪意から、裏切りから、中傷から、陰口から、そして敵意から遠ざけなさい。身の程をわきまえなさい。あなたは二分と呼吸せずに生きることはできないし、飲み食いしたものを排泄せずに二日間生きることもできないのです。眠らずに生きることもできなければ、眠った後、目覚めずにもいられないのです。謙遜のみがあなたを高め、うぬぼれはあなたを卑しめます。アーダムにサジュダしなかったシャイターンが、そのうぬぼれによって卑しめられた最初の存在であることを忘れてはならないのです。アッラーは、あなたが負うことのできない荷を与えられることはありません。我欲よ、無駄に弁解をすることはないのです。

だから、不注意さから目覚め、自分を取り戻しなさい。無知であってはならないのです。あなたの全力で、あらゆる努力で、善であるように努め、災いから遠ざかりなさい。

あなたはとても幸運です。イフラースと誠意によってあなたの罪を許される、あなたの神が存在するのです。諸世界への恵みとして遣わされ、ウンマのことのみを気にかけられた方、もしあなたが本当にその方を愛しているのであればあなたのための仲裁者になってくださる、預言者がいるのです。あとに何を求めるのでしょうか。